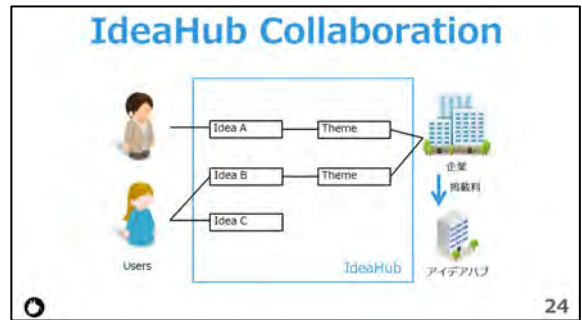
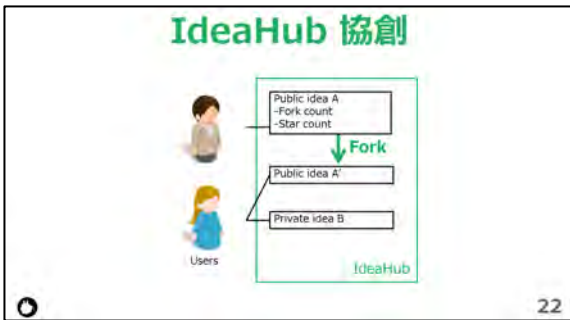
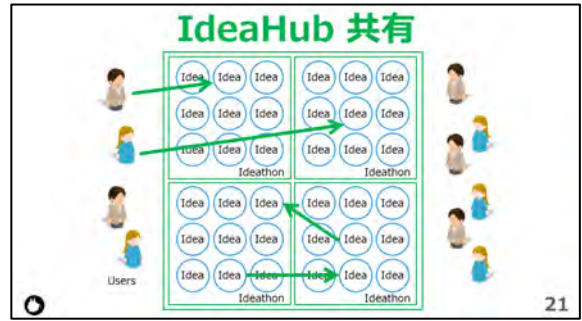


《小山 PBL》

- タイトル: 「イノベーションのための情報システム・ソフトウェアの開発」
- 講演内容: 以下、資料抜粋



Slide 35: Collaboration 第一弾 わ!しがわ 魅力発信事業 品川区 地域の魅力発信ソーシャルアイデアソン

Poster for the first collaboration event. It includes the following information:

- 第一弾 課題抽出アイデアソン** (First Event: Issue Extraction Idea Son)
- 2016年 10月29日(土) 12:00 ~ 16:30**
- 30日(日)**
- 参加費 無料** (Participation Fee: Free)
- 258 枚** (Number of ideas)
- 2016年 11月23日(土) 14:00 ~ 18:00**
- 12月3日(土) 10日(土)**

Slide 35: 株式会社アイデアハブ 2016/7/14 設立

Company profile for IdeaHub Co., Ltd. established on 2016/7/14. It includes details such as the company name, address, and contact information.

《越水 PBL》

- タイトル: 「生体情報を用いた観光支援ツール「EEG TRAVELER」の提案」
- 講演内容: 以下、資料抜粋

**生体情報を用いた観光支援ツール「EEG TRAVELER」の提案**

越水PT 4・2・1

14748201 佐々木 尚希  
15748105 藤尾 孝平  
15748115 宇 文雄  
15748128 渡井 樹  
15748130 藤 丹都  
15748142 山口 航平  
15748114 常 津尚  
新田健典 越水 重防 先生  
副田尚典 越水 重防 先生 (10,10) 、 西田 健 先生、 大久保 友幸 先生 (10,40)

KOSHIMIZU PT 4!!

4回 (観光客と観光地の悩み)

**観光客の問題**

- 観光情報収集が困難
- 観光地側からの情報が十分に届いていない。
- 観光情報に偏りがある

**観光地の問題**

- 観光客の情報を適切に入手できていない
- 観光客に与えたい情報を与えてない
- 顧客の分析が出来ていない

↓

生体情報を用いたツールの提供によって  
これらの問題を解決する

KOSHIMIZU PT 4!!

1 EEG TRAVELER

**EEG TRAVELER**

- 観光地の情報をダイレクトに得られる
- 自分に合った情報を得られる
- 観光地の脳波ランキングを見れる
- フォトシェアリングスポットとの出会い
- 観光地を評価できる

観光客の状態

↓

最適な観光情報

**EEG CONDUCTOR**

- 地域の魅力を発見できる
- 既存観光資源の評価を得られる
- 話題性の傾向をみれる
- 環境等に情報提供が出来る
- 受け入れ態勢 (言語など) の整備

観光地と観光客をつなげるサービスの提供

KOSHIMIZU PT 4!!

2 EEG TRAVELER

**EEG TRAVELER** とは  
Electroencephalogram raveler

**主な機能**

- ユーザ認証機能
- 本日のおすすめ
- 現在地のランキング
- 目的別ランキング
- 位置別ランキング
- イベント情報
- スポット検索



KOSHIMIZU PT 4!!

まとめ: 価値サイクル

脳波観光ルートの作成

脳波の取得



脳波観光ルートをPR



好循環

観光客の増加



観光客への情報発信



興味を持ってもらう

KOSHIMIZU PT 4!!

**観光客の声**



日本人、日本人、コロンビア人、中国人、アメリカ人、中国人

脳波に基づいて、自分にフィットした観光情報を手に入れば面白い、使ってみたい!

**観光地の声**



東京都交通局

どんな観光客に対して何をPRすれば良いかわかる。脳波ルート提案が面白い。

KOSHIMIZU PT 4!!

《池本 PBL》

- タイトル: 「訪問時間外で訪問看護の質を高めるコミュニケーションサービス」
- 講演内容: 以下、資料抜粋

### 1. デザインコンセプト

「周りに集う」  
つかずはなれず見守るには、利用者を見守る人々が、「周りに集う=つかずはなれずそばにいる」ことで、互いの「不安・不満・負担」が軽減する。

### 2. プロトタイプ

「タグ付き画像や映像の共有」  
患者さんの状態をタグ付き画像や映像として見守る人々に共有

「コミュニケーションロボット」  
センサーと連動し見守る人々のサポートを行う。いつでもそばに。

「センサーネットワーククラウドシステム」  
ケアの質を上げるため利用者の状態を把握できる自宅に。

### 3. 「介護の王国」のビジネスモデル

「介護の王国」はご利用者様の要望に沿った有効なケアを提供します。

IoT と GPS  
「訪問看護」+「訪問介護」のハイブリッド!

### 4. 「介護の王国」が手がける老人ホームとは？

すべては“ニーズ”に応えるために設計されました

入居者様3名に介護・看護職員が1名付いた住まいが月額9万5千円

看護士など医療従事者が約200ヶ所の提携先から24時間365日バックアップ

◎月額が15千円で暮らせる住まい  
◎希望に合わせてもぐと住まえる  
◎再入院を避け、身体機能を維持向上  
◎入居者様3名に介護・看護職員1名を配置

◎院内・院外200ヶ所の訪問看護ステーションと連携  
◎地域の病院やクリニックとも柔軟連携で連携  
◎アクセスマップで正確に病態を確認  
◎IoTの活用でケアや入居者様の様子を見える化

### 5. ビジネス化した結果

訪問看護師が抱える不安・不満・負担

「不安」	「不満」	「負担」
<input type="checkbox"/> ケア内容を自己判断する不安 (訪問は基本)人で行くため <input type="checkbox"/> 経験不足のため判断に迷う <input type="checkbox"/> 新人看護師が質がにくい	<input type="checkbox"/> 医療関係者間の連携 <input type="checkbox"/> 自分の能力を發揮できない <input type="checkbox"/> 介護士でもできる業務を行う <input type="checkbox"/> 患者に同程度の同じ質問をする	<input type="checkbox"/> 薬の管理 <input checked="" type="checkbox"/> 同じ訪問時間でもケアの内容が変わる <input type="checkbox"/> 患者との関係づくり <input type="checkbox"/> 人手不足

### 6. ビジネス化した結果

利用者と家族が抱える不安・不満・負担

「不安」	「不満」	「負担」
<input type="checkbox"/> 医療知識不足 <input type="checkbox"/> 介護の仕方 <input type="checkbox"/> 病状の急変 <input type="checkbox"/> 相談相手が少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 看護師によってケアが変わる <input type="checkbox"/> 適切なケアを受けられているか <input type="checkbox"/> 見てもらえる時間が少ない <input type="checkbox"/> 両度も同じ質問をされる	<input type="checkbox"/> 訪問時に自宅にいなければならない <input type="checkbox"/> 自宅に人が入る <input checked="" type="checkbox"/> 看護師との関係づくり <input checked="" type="checkbox"/> 家族での介護

### 3.5 社会人及び女性の学び直しのための新しい環境

本学は 2006 年の開学当初から平日夜間・週末の授業開講、長期履修生制度、科目等履修生制度等の社会人の仕事との両立に配慮した修学環境を整備し、また、学生・社会からの要望と、運営諮問会議等からの答申等を継続的に反映し、社会人の学び直しのための環境の改善を行っている。

日本のほとんどの大学院が学部を卒業した直後の 20 代前半の新卒者が学生の大半を占めることに対して(OECD の統計)、本学は開学初年度から現在まで、情報アーキテクチャ及び創造技術両専攻平均で 8 割以上の学生が社会人学生であり、30 代の学生を中心に、20 代後半から 40 代の学生が大半を占める。我が国での社会人の大学院での学び直しが限定的である理由として、業務多忙と経済的負担があげられている(東京大学 CRUMP 等の調査)。社会人の修学に対する職場等の環境は厳しく、本学での大学院説明会でのアンケート及び修了時のアンケートでも、依然として同様の結果が得られている。

以下では、これらの問題に対する本学及び当事業の取り組みをまとめる。

#### 3.5.1 時間的及び場所的制約

- 《平日夜間・土曜昼間の授業開講》  
平日夜間(18:30～21:40 の 90 分×2 回)、土曜昼間(9:00～18:00 の 90 分×5 回)に授業を開講している。
- 《科目等履修生・AIIT 単位バンク制度》  
科目等履修生として、1 科目単位で履修することができる。取得した科目の単位は既修得単位として認定され、正規入学後に、入学前に取得した認定単位数分の科目等履修生授業料は返還される(1 科目 2 単位を修得済みの場合の 1 年目の授業料は 520,800 円から 14,400 円×2 単位=28,800 円を差し引いた 492,000 円)。科目等履修生として修得した単位は 5 年間有効である。
- 《長期履修生制度》  
仕事・育児等の事情で、標準修業年の 2 年間での修了が難しい場合は、2 年間相当の授業料で、最長 3 年間の修業年限で計画的に履修スケジュールを立てることができる。また、AIIT 単位バンク制度を利用すれば、さらに時間をかけて修学することもできる。
- 《修学年限通算(早期修了)制度》  
AIIT 単位バンクであらかじめ所定の単位数(28 単位)を取得する等の条件を満たした学生は、修学年限を加算することで、入学後 1 年間で修了することができる。
- 《4 学期制》